

2018年2月27日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL18-06

本プレスリリースは、米国イーライリリー社が1月31日(米国現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳したものです。内容および解釈については英文オリジナルが優先されます。<http://www.lilly.com>をご参照ください。

米国イーライリリー社、好調な2017年第4四半期・通年の増収、 及び2018年EPS予想の上方修正を報告

- 2017年第4四半期の売上は主に新薬の販売数量増加が寄与し7%増。事業費は横ばい。
- 2017年第4四半期の1株当たり利益(損失)(EPS)は、主に最近成立した米国税制改正法に伴う19億ドルの想定費用の計上、及び当社のコスト構造削減策に伴う費用を反映し、報告値が1.58ドルの損失、非GAAP値は1.14ドルの利益。
- 2017年通年の売上は、8%増の229億ドル。2017年通年の1株当たり利益(損失)(EPS)は、報告値が0.19ドルの損失、非GAAP値は4.28ドルの利益。
- 2017年第4四半期の医薬品売上は9%増。トルリシティ、サイラムザ、トルツ、Basaglar、ジャディアンズ、Lartruvo、オルミエント、Verzenio、Portrazza等の新製品が販売数量を12%増加させ、総売上の23%を占める。
- パイプラインでは、米国とEUにおけるトルツの活動性関節症性乾癬の適応症の承認取得、及び当社の自動インスリン注入システムの臨床試験開始を含む開発早期のパイプラインの進展を発表。
- 2018年のEPS予想範囲を報告値ベースで4.39ドル~4.49ドルの利益、非GAAP値ベースで4.81ドル~4.91ドルの利益にそれぞれ引き上げ。この変更には最近成立した米国税制改正法により想定される恩恵を含む。

イーライリリー・アンド・カンパニー(NYSE: LLY、本社: 米インディアナ州インディアナポリス、以下リリー社)は米国時間1月31日、2017年第4四半期及び通年の業績を発表しました。

単位百万ドル(EPSを除く)	第4四半期			通年		
	2017	2016	% 成長率	2017	2016	% 成長率
売上	\$ 6,160.7	\$ 5,760.5	7%	\$ 22,871.	\$ 21,222.	8%
純利益(損失) - 報告値	(1,656.9)	771.8	NM	(204.1)	2,737.6	NM
EPS(1株当たり利益/損失)-報告値	(1.58)	0.73	NM	(0.19)	2.58	NM
純利益 - 非 GAAP 値	1,206.7	1,013.4	19%	4,530.4	3,735.6	21%
EPS - 非 GAAP 値	1.14	0.95	20%	4.28	3.52	22%

2017年度と2016年度の業績は報告値及び非GAAP値の両方で示されています。本プレスリリースに含まれる数値は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。報告値は一般会計原則(GAAP)に則って作成され、当該期間に計上した全ての売上及び経費を含んでいます。非GAAP業績は、後述の調整表にある特定項目を除外しています。リリー社の2018年度の業績予想も報告値と非GAAP値の両方で説明されています。この非GAAP値は、会社の業績の潜在的傾向への追加的な洞察を提供する為のものです。

リリー社の会長兼最高経営責任者(CEO)のデイビッド・A.リックス(David A. Ricks)は次のように述べています。「トルリシティ、トルツ、ジャディアンスなどの新製品が、2017年第4四半期の着実な売上成長を牽引し続けた一方、事業費は横ばいを維持しました。イノベーションに基づく当社の戦略も勢いを維持しています。米国とEUにおいて、トルツの活動性関節症性乾癬を適応症とする承認を取得しました。乳癌を適応症とするVerzenioについて、早期の立ち上がりには自信を得ています。当社は2018年に、がん、自己免疫疾患、糖尿病、神経変性疾患、疼痛などの患者ニーズの高い領域で一層のパイプライン進展を予想しています」。

過去3ヵ月の主要な出来事

薬事関連

- 成人の活動性関節症性乾癬を適応症とするトルツ®(イクセキズマブ)に関して、以下の進展がありました。
 - 米国食品医薬品局(FDA)が承認し、当社が米国で上市。
 - 欧州委員会が承認。

臨床開発

- 当社は HER2 陰性(HER2-)の転移胃腺癌又は胃食道接合部腺癌患者に対するファーストライン治療として、サイラムザ®(ラムシルマブ)+シスプラチン+カペシタビン又は 5-FU(5-フルオロウラシル)併用療法の有効性を評価した第 III 相試験のトップライン結果を発表しました。本試験では、主要評価項目である無増悪生存期間(PFS)の有意な延長が示されました。しかし、副次評価項目である全生存期間(OS)の延長は認められませんでした。当社は本試験の結果に基づく規制当局への承認申請を行いません。
- 当社は 1 型糖尿病における自動インスリン注入システムの機能性と安全性を評価する臨床試験を開始しました。このシステムは、閉ループの複合型プラットフォームに専用コントローラー付きのインスリンポンプが接続され、血糖値を継続的にモニターしながら投与アルゴリズムに従って自動的にインスリンを投与するものです。このシステムは、インスリン使用をより効果的にすることで糖尿病管理をより容易にするためにデザインされる"Connected Diabetes Ecosystem"の一環です。

2017 年第 4 四半期の業績

2017 年第 4 四半期の世界全体での売上は 61 億 6,100 万ドルで、前年同期比 7%増でした。増収の内訳は販売数量の増加で 4%、実勢価格の上昇で 2%、外国為替の有利な影響で 1%でした。

米国での総売上は前年同期比 6%増の 34 億 2,300 万ドルとなりました。この増加はトルリシティ®、Basaglar®、トルツ、ジャディアンス®、Lartruvo™、Verzenio™などの新薬の販売数量増加、及びフォルテオ®、ヒューマリン®を主とする複数の医薬品の実勢価格上昇が寄与したことによります。この増収はストラテラ®とエフィエント®の独占権の喪失による販売数量の減少、及びシアリス®や食用動物向け製品の需要減少、更にヒューマログ®の実勢価格の低下により、一部相殺されました。実勢価格には、前年同期と同程度の規模の、リベートと割引の見積変更からの増収を織り込んでいます。

米国外での総売上は、前年同期比 8%増加して 27 億 3,800 万ドルとなりました。トルリシティ、トルツ、サイラムザ、ジャディアンス、オルミエント®などの複数の新薬の販売数量増加、及び金額は小さいものの外国為替の有利な影響が寄与したことによります。

2017 年第 4 四半期における売上総利益は、前年同期比 6%増の 45 億 3,600 万ドルでした。売上に対する売上総利益の割合は、前年同期から 1.0 パーcentageポイント低下して 73.6%でした。売上総利益比率の低下は、製造の効率化と実勢価格の上昇で一部相殺されたものの、主に海外の棚卸資産の販売に係る外国為替変動の影響と製品構成の変化によるものです。

2017 年第 4 四半期の事業費(研究開発、マーケティング、販売及び一般管理費の合計)は、前年同期比横ばいの 32 億 5,400 万ドルでした。研究開発費は、前年同期比 2%増の 14 億 7,300 万ドルで、総売上に対する比率は 23.9%となりました。マーケティング、販売及び一般管理費は、前年同期比 1%減の 17 億 8,000 万ドルとなりました。ライフサイクル後期にある製品に関する費用が減少したため、新薬に関する費用の増加で一部相殺されました。2017 年第 4 四半期の事業費は総売上の 52.8%となり、前年同期比 3.4 パーcentageポイント減少しました。

2017年第4四半期に、当社はキュアバック社との戦略的提携に関連して、取得済仕掛研究開発費 5,000 万ドルを計上しました。2016年第4四半期に、当社は、アストラゼネカ社との MEDI1814(アルツハイマー病の疾患修飾治療薬候補)の共同開発契約に関連して、取得済仕掛研究開発費 3,000 万ドルを計上しました。

2017年第4四半期に、当社は 10 億 300 万ドルの資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用を計上しました。この特別費用は、主として米国での希望早期退職プログラムを含む当社のコスト構造改善に関するものです。2016年第4四半期に、当社は 1 億 4,760 万ドルの資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用を計上しました。その主なものは、グローバル全体の退職費用とノバルティス社の動物用医薬品事業の買収に伴う統合費用に関するものです。

2017年第4四半期の事業利益は、前年同期から 6 億 4,720 万ドル減少して 2 億 2,900 万ドルでした。これは、売上総利益の増加があったものの、資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用が増加したためです。

2017年第4四半期のその他の収入(費用)は 5,510 万ドルの収入超過で、前年同期は 1,580 万ドルの収入超過でした。その他の収入の増加は、主として 2016 年と比べて、2017 年第 4 四半期の投資純利益が増加したためです。

2017年第4四半期に、当社は 19 億 4,100 万ドルの所得税を計上しました。税引前利益は 2 億 8,410 万ドルですが、見積税額として 19 億 1,400 万ドルを織り込んでいます。この見積税額は、最近成立した米国税制改正法に基づくもので、約 36 億ドルのいわゆる「通行税」と呼ばれる 1 回限りの外国子会社配当益金不算入分を織り込んでいます。この見積税額は、さらなる分析、及び追加の法制・解釈・ガイダンスによって変更になる可能性があります。外国子会社配当益金不算入に関する新ルールの結果として、当社は海外の子会社に留保している 90 億ドルを超えるキャッシュを活用できるようになります。

2017年第4四半期の純利益(損失)は 16 億 5,700 万ドルの損失、1 株当たり利益(損失)は 1.58ドルの損失となりました。これに対して前年同期は、それぞれ 7 億 7,180 万ドルの利益と 0.73ドルの利益でした。純利益(損失)と 1 株当たり利益(損失)の減少は、主として最近成立した米国税制改正法の影響、及び資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用の増加によるものです。

2017年第4四半期の業績(非GAAP値)

非GAAP値では、2017年第4四半期の売上総利益は6%増加して47億1,000万ドルになりました。売上に対する売上総利益の割合は、前年同期から0.9パーセンテージポイント低下して76.5%でした。売上総利益比率の低下は、製造の効率化と実勢価格の上昇で一部相殺されたものの、主に海外の棚卸資産の販売に係る外国為替変動の影響と製品構成の変化によるものです。

2017年第4四半期の事業費は、総売上の52.8%となり、前年同期比3.4パーセンテージポイント減少しました。

2017年第4四半期の事業利益は、前年同期比2億3,940万ドル(20%)増加して14億5,800万ドルでした。これは売上総利益の上昇が寄与したためです。

2017年第4四半期の実効税率は20.2%、前年同期は17.9%でした。2017年第4四半期の実効税率の上昇は、主として前年同期に比べて個別の税制優遇による純額が減少したためです。

2017年第4四半期の純利益は19%増加して12億700万ドル、1株当たり利益は20%増加して1.14ドルとなりました。これに対して前年同期は、それぞれ10億1,300万ドル、及び0.95ドルでした。純利益と1株当たり利益の増加は、主に事業利益が増加したためです。

非GAAP値の詳細については、以下の調整表と、本プレスリリース中の後述のGAAP報告値と一部の非GAAP調整後値の対比表をご覧ください。

	第4四半期		
	2017	2016	%成長率
1株当たり利益(損失) - 報告値	\$ (1.58)	\$ 0.73	NM
米国税制改正法	1.81	—	
資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用	0.75	0.10	
無形固定資産の償却	0.11	0.11	
取得済仕掛研究開発費	0.03	0.02	
ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンポートフォリオ買収に伴う棚卸資産のステップアップ費用	0.01	—	
1株当たり利益(非GAAP値)	\$ 1.14	\$ 0.95	20%

四捨五入のため合計値は一致しない。

2017年通年の業績(報告値)

2017年通年の世界全体での売上は228億7,100万ドルで、前年比8%増でした。売上の増加は6%の販売数量の増加及び2%の実勢価格の上昇によるものでした。

米国での総売上は、前年比11%増の127億8,500万ドルとなりました。この増加は、トルリシティ、トルツ、Basaglar、Lartruvo、ジャディアンスなどの新薬の販売数量増加、及びフォルテオ、シアリスなどの複数の医薬品の実勢価格の上昇、更にベーリンガーインゲルハイムベトメディカ社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン、及び狂犬病ワクチンのポートフォリオの取得により、コンパニオンアニマル向け製品の販売数量増加が寄与しました。この増収は、ストラテラとエフィエントの独占権の喪失による販売数量の減少、及びシアリスや食用動物向け製品の需要減少により、一部相殺されました。サインバルタの売上は1億5,400万ドル減少しましたが、これは前年には返品準備金の減少による売上の増加があったためです。

米国外での総売上は、4%増加して100億8,600万ドルとなりました。これはトルリシティ、サイラムザなどの複数の新薬の販売数量が増加したためです。この増収は、複数の国におけるアリムタの特許期間満了と競争の激化、及び日本におけるジプレキサの特許期間満了による販売数量の減少によって一部相殺されました。

2017年の売上総利益は、前年比8%増の168億100万ドルでした。売上に対する売上総利益の割合は、前年同期から0.1パーセンテージポイント上昇して73.5%でした。売上総利益比率の上昇は、棚卸資産の販売に係る外国為替変動の影響と製品構成の変化によって相殺されたものの、主として製造の効率化と実勢価格の上昇によるものです。

2017年の総事業費は、前年比1%増の118億7,000万ドルとなりました。研究開発費は、前年比1%増の52億8,200万ドルで、総売上に対する比率は23.1%となりました。マーケティング、販売及び一般管理費は、前年比2%増の65億8,800万ドルとなりました。これはライフサイクル後期にある製品に関する費用の低下で一部相殺されたものの、新製品のマーケティング費用が増加したためです。2017年の事業費は総売上の51.9%となり、前年比3.2パーセンテージポイント減少しました。

2017年に当社は取得済仕掛研究開発費11億1,300万ドルを計上しました。これはコルシド・ファーマシューティカルズの買収を主とする事業開発活動によるものです。2016年に当社は、アストラゼネカ社とのMEDI1814(アルツハイマー病の疾患修飾治療薬候補)の共同開発契約に関連して、取得済仕掛研究開発費3,000万ドルを計上しました。

2017年に当社は16億7,400万ドルの資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用を計上しました。この特別費用は、主として米国での希望早期退職プログラムを含む当社のコスト構造改善に関するものです。2016年に当社は、3億8,250万ドルの資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用を計上しました。その主なものは、ノバルティス社の動物用医薬品事業買収に伴う統合費用及び退職費用、その他のグローバル全体の退職費用、更にアイルランドの動物用医薬品製造設備の閉鎖に伴う資産減損に関する費用です。

2017年の事業利益は、前年比38%減少して21億4,500万ドルとなりました。これは資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用、更に取得済仕掛研究開発費用が増加したためで、一部は売上総利益の増加で相殺されました。

2017年のその他の収入(費用)は、5,240万ドルの収入超過でした。2016年のその他の収入(費用)は、8,480万ドルの費用超過でした。このその他の費用には、ベネズエラの金融危機の影響(ポリバルの大幅安など)に係った費用2億390万ドルが含まれますが、一部は投資純利益で相殺されました。

2017年に当社は24億200万ドルの所得税を計上しました。税引前利益は21億9,700万ドルですが、見積税額として19億1,400万ドルを織り込んでいます。この見積税額は、最近成立した米国税制改正法に基づくもので、約36億ドルのいわゆる通行税を織り込んでいます。この見積税額は、追加の分析、及びさらなる法制・

解釈・ガイダンスによって変更になる可能性があります。外国子会社配当益金不算入に関する新ルールの結果として、当社は海外の子会社に留保している 90 億ドルを超えるキャッシュを活用することができるようになります。2016 年の実効税率は 18.9%でした。

2017 年通年の純利益(損失)は 2 億 410 万ドルの損失、1 株当たり利益(損失)は 0.19ドルの損失となりました。これに対して前年は、それぞれ 27 億 3,800 万ドルの利益と 2.58ドルの利益でした。純利益(損失)と 1 株当たり利益(損失)の減少は、最近成立した米国税制改正法の影響、また資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用の増加、更に取得済仕掛研究開発費の増加によるもので、一部は売上総利益の増加で相殺されました。

2017 年通年の業績(非 GAAP 値)

非 GAAP 値では、2017 年の事業利益は前年より 10 億 9,400 万ドル(24%)増加して 56 億 4,900 万ドルとなりました。これは売上総利益が増加したためです。2017 年の実効税率は 20.5%、前年は 20.1%でした。純利益は 21%増加して 45 億 3,000 万ドル、1 株当たり利益は 22%増加して 4.28 ドルとなりました。

非 GAAP 値の詳細については、以下の調整表と、本プレスリリース中の後述の GAAP 報告値と一部の非 GAAP 調整後値の対比表をご覧ください。

	通年		%成長率
	2017	2016	
1 株当たり利益(損失)-報告値	\$ (0.19)	\$ 2.58	NM
米国税制改正法	1.81	—	
資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用	1.23	0.29	
取得済仕掛研究開発費	0.97	0.02	
無形固定資産の償却	0.44	0.44	
ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネ コ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンポートフォリオ買収 に伴う棚卸資産のステップアップ費用	0.03	—	
ベネズエラ費用	—	0.19	
1 株当たり利益(非 GAAP 値)	\$ 4.28	\$ 3.52	22%

四捨五入のため合計値は一致しない。

売上高ハイライト

(単位:百万ドル)	第4四半期			通年		
	2017	2016	%成長率	2017	2016	%成長率
既存医薬品						
ヒューマログ®	\$ 782.2	\$ 819.8	(5)%	\$ 2,865.2	\$ 2,768.8	3%
シアリス®	597.4	676.3	(12)%	2,323.1	2,471.6	(6)%
アリムタ®	525.2	541.6	(3)%	2,062.5	2,283.3	(10)%
フォルテオ®	513.2	422.5	21%	1,749.0	1,500.0	17%
ヒューマリン®	362.6	355.3	2%	1,335.4	1,365.9	(2)%
サインバルタ®	192.8	181.8	6%	757.2	930.5	(19)%
アービタックス®	168.9	153.7	10%	645.9	687.0	(6)%
ストラテラ®	98.3	243.2	(60)%	618.2	854.7	(28)%
ジプレキサ®	152.2	153.0	(1)%	581.2	725.3	(20)%
エフィエント®	62.3	140.9	(56)%	388.9	535.2	(27)%
新医薬品						
トルリシテイ®	649.0	337.0	93%	2,029.8	925.5	119%
サイラムザ®	204.8	177.1	16%	758.3	614.1	23%
トルツ®	172.5	61.3	182%	559.2	113.1	394%
ジャディアンス® ^(a)	143.2	76.1	88%	447.5	201.9	122%
Basaglar®	153.8	39.5	289%	432.1	86.1	402%
Lartruvo®	59.0	11.9	396%	203.0	11.9	1,607%
オルミエント®	23.0	—	NM	45.9	—	NM
Verzenio®	21.0	—	NM	21.0	—	NM
Portrazza®	2.1	3.8	(44)%	10.3	14.8	(30)%
小計	1,428.4	706.7	102%	4,507.0	1,967.4	129%
動物用医薬品	790.9	837.6	(6)%	3,085.6	3,158.2	(2)%
総売上	6,160.7	5,760.5	7%	22,871.3	21,222.1	8%

(a)ジャディアンスには Glyxambi®と Synjardy®が含まれる。
 NM: 比較不能
 四捨五入のため合計値は一致しない。

主な既存医薬品

ヒューマログ

2017年第4四半期における世界全体での「ヒューマログ」の売上は、前年同期比5%減の7億8,220万ドルでした。米国での売上は、実勢価格の低下、及び影響はより少ないものの購入パターンによる販売数量の減少により12%減の4億6,340万ドルでした。実勢価格にはリベートと割引の見積変更からの、前年同期と同程度の規模の増収を織り込んでいます。セグメント及び保険支払会社の構成比率の変更によって実勢価格が低下しました。米国外での売上は、販売数量の増加、外国為替変動の有利な影響、及び影響はより少ないものの実勢価格の上昇が寄与し、8%増の3億1,880万ドルになりました。

2017年通年の世界全体での「ヒューマログ」の売上は、前年比3%増の28億6,500万ドルでした。米国における2017年の「ヒューマログ」の売上は、前年比2%増の17億1,800万ドルでした。主としてリベートと割引の見積の変更(2016年は売上減少要因となり、2017年は売上増加要因となった)を反映した実勢価格の上昇が寄与しました。米国外における「ヒューマログ」の売上は、前年比6%増の11億4,700万ドルでした。販売数量の増加と、影響はより少ないものの実勢価格の上昇が寄与しましたが、一部は外国為替変動の不利な影響によって相殺されました。

シアリス

2017年第4四半期の「シアリス」の世界全体での売上は前年同期比12%減の5億9,740万ドルでした。米国における第4四半期の「シアリス」の売上は、需要の減少により前年同期比13%減の3億6,140万ドルとなりました。「シアリス」の米国外での売上は、外国為替変動の有利な影響があったものの、販売数量の減少によって10%減の2億3,600万ドルとなりました。

2017年通年の「シアリス」の世界全体での売上は、前年比6%減の23億2,300万ドルでした。2017年の「シアリス」の米国における売上は、実勢価格の上昇があったものの、需要の減少によって8%減の13億5,900万ドルとなりました。「シアリス」の米国外での売上は、実勢価格の上昇があったものの、販売数量の減少によって4%減の9億6,450万ドルとなりました。

アリムタ

2017年第4四半期における世界全体での「アリムタ」の売上は、前年同期比3%減の5億2,520万ドルでした。米国での「アリムタ」の売上は、前年同期比1%増加して2億7,240万ドルでした。販売数量が増加しましたが、一部は実勢価格の低下によって相殺されました。米国外での「アリムタ」の売上は、競争の激化と複数の国での独占権の喪失により、7%減の2億5,280万ドルとなりました。

2017年通年の世界全体での「アリムタ」の売上は、前年比10%減の20億6,300万ドルでした。2017年の米国での「アリムタ」の売上は、競争の激化による需要の減少を受けて、前年比6%減の10億3,400万ドルでした。米国外での「アリムタ」の売上は、競争の激化と複数の国での独占権の喪失により、前年比13%減の10億2,800万ドルでした。

フォルテオ

2017年第4四半期における世界全体での「フォルテオ」の売上は、前年同期比21%増の5億1,320万ドルとなりました。米国での売上は、実勢価格の上昇、及び主として卸の購入パターンによる販売数量の若干の増加を受けて32%増の3億370万ドルでした。米国外での売上は、販売数量の増加、及び影響はより少ないものの実勢価格の上昇が寄与し、8%増の2億950万ドルになりました。

2017年通年の世界全体での「フォルテオ」の売上は、前年比17%増の17億4,900万ドルとなりました。2017年の米国における「フォルテオ」の売上は、実勢価格の上昇、及び主として卸の購入パターンによる販売数量の増加を受けて25%増の9億6,520万ドルでした。米国外での「フォルテオ」の売上は、外国為替変動の不利な影響と実勢価格の下落があったものの、販売数量の増加が寄与し、7%増の7億8,380万ドルになりました。

ヒューマリン

2017年第4四半期における世界全体での「ヒューマリン」の売上は、前年同期比2%増の3億6,260万ドルでした。米国での売上は13%増の2億4,970万ドルでした。主としてリベートと割引の見積変更による実勢価格

の上昇、及びセグメントと取引相手である保険支払会社の構成比率の変更が寄与しましたが、販売数量の減少によって一部相殺されました。米国外の売上は 15%減の 1 億 1,280 万ドルとなりました。外国為替変動の有利な影響があったものの、主として中国における購入パターンによる販売数量の減少、及び影響はより少ないものの実勢価格の低下によるものでした。

2017 年通年の世界全体での「ヒューマリン」の売上は、前年同期比 2%減の 13 億 3,500 万ドルでした。2017 年の米国での売上は、実勢価格の上昇が寄与して、3%増の 8 億 8,460 万ドルとなりました。米国外での売上は、主として販売数量の減少と実勢価格の低下によって 11%減の 4 億 5,070 万ドルとなりました。

主な新医薬品

トルリシティ

2017 年第 4 四半期における世界全体での「トルリシティ」の売上は、前年同期比 93%増の 6 億 4,900 万ドルでした。米国での売上は、「トルリシティ」に関する市場シェアの拡大と GLP-1 受容体作動薬市場の成長が牽引して、前年同期比 94%増の 5 億 1,980 万ドルとなりました。米国外での売上は、87%増の 1 億 2,920 万ドルでした。

2017 年通年の世界全体での「トルリシティ」の売上は、前年比 119%増の 20 億 3,000 万ドルでした。米国での売上は、「トルリシティ」に関する市場シェアの拡大と GLP-1 受容体作動薬市場の成長が牽引して、118%増の 16 億 1,000 万ドルとなりました。米国外での売上は、123%増の 4 億 1,990 万ドルでした。

サイラムザ

2017 年第 4 四半期の世界全体での「サイラムザ」の売上は 2 億 480 万ドルで、前年同期比 16%増でした。米国での売上は、販売数量の増加により、17%増の 7,440 万ドルとなりました。米国外での売上は、実勢価格の低下と、影響はより少ないものの外国為替変動の不利な影響がありましたが、主に日本で販売数量が好調に増加したため、前年同期比 15%増の 1 億 3,040 万ドルとなりました。

2017 年通年の世界全体での「サイラムザ」の売上は 7 億 5,830 万ドルで、前年比 23%増でした。米国での売上は、販売数量の増加により、3%増の 2 億 7,880 万ドルとなりました。米国外での売上は、実勢価格の低下と、影響はより少ないものの外国為替変動の不利な影響がありましたが、主に日本で販売数量が好調に増加したため、前年同期比 39%増の 4 億 7,960 万ドルとなりました。

トルツ

2017 年第 4 四半期の世界全体での「トルツ」の売上は、1 億 7,250 万ドルでした。米国での売上は、2017 年第 3 四半期と比較して 1,110 万ドル増加して 1 億 4,250 万ドルとなりました。

2017 年通年の「トルツ」の世界全体での売上は、5 億 5,920 万ドルでした。米国での売上は 4 億 8,600 万ドルでした。

ジャディアンス

2017 年第 4 四半期における当社の世界全体での「ジャディアンス」の売上は、前年同期比 88%増の 1 億 4,320 万ドルでした。米国での売上は、「ジャディアンス」の市場シェア拡大と SGLT2 阻害薬市場の成長が牽引して、前年同期比 65%増の 9,210 万ドルとなりました。米国外での売上は、複数の国における販売数量の増加と、影響はより少ないものの外国為替変動の有利な影響により、前年同期比 151%増の 5,110 万ドルとなりました。「ジャディアンス」はベーリンガーインゲルハイム社とリリー社との糖尿病領域における提携に含まれるため、当社は「ジャディアンス」の売上総利益の一部を売上として報告しています。

2017 年通年の世界全体での「ジャディアンス」の売上は 4 億 4,750 万ドルで、前年比 122%増でした。米国での売上は、「ジャディアンス」の市場シェア拡大と SGLT2 阻害薬市場の成長が牽引して、101%増の 2 億 9,040 万ドルとなりました。米国外での売上は、主として複数の国における販売数量の増加が寄与して 173%増の 1 億 5,700 万ドルとなりました。

Basaglar

2017年第4四半期における「Basaglar」の世界全体の売上は、1億5,380万ドルとなりました。米国での売上は1億1,440万ドルで2017年第3四半期と比べて実質的に横ばいでした。リベートと割引の見積変更が2017年第3四半期の売上を増加させ、2017年第4四半期の売上を減少させたためです。「Basaglar」は、ベーリンガーインゲルハイム社とリリー社との糖尿病領域における提携に含まれており、当社はその総売上を売上として計上し、ベーリンガーインゲルハイム社に支払う売上総利益の一部を売上原価として計上しています。

2017年通年の世界全体での「Basaglar」の売上は、4億3,210万ドルでした。米国での売上は3億1,110万ドルでした。

Lartruvo

2017年第4四半期の「Lartruvo」(ドキシソルピシンとの併用による成人に対する進行悪性軟部腫瘍の治療薬)の世界全体での売上は、5,900万ドルでした。米国での売上は4,150万ドルで、2017年第3四半期と比較して実質的に横ばいでした。

2017年通年の世界全体での「Lartruvo」の売上は、2億300万ドルでした。米国での売上は1億6,170万ドルでした。

オルミエント

2017年第4四半期の「オルミエント」(中等度から高度疾患活動性の関節リウマチに対する治療薬)の世界全体での売上は、ドイツでの上市後の好調な立ち上がりを反映して、2017年第3四半期と比較して680万ドル増加し、2,300万ドルとなりました。

2017年通年の世界全体での「オルミエント」の売上は、ドイツでの上市後の好調な立ち上がりを反映して、4,590万ドルでした。

Verzenio

2017年第4四半期及び2017年通年の全世界での「Verzenio」[ホルモン受容体陽性(HR+)、ヒト上皮成長因子受容体2陰性(HER2-)の進行または転移乳癌の女性患者の治療薬]の売上は、2,100万ドルでした。「Verzenio」は2017年第4四半期に米国で上市されました。

動物用医薬品

2017年第4四半期における世界全体での動物用医薬品の売上は、前年同期比6%減の7億9,090万ドルとなりました。世界全体での食用動物向け製品の売上は、主として米国におけるPosilac®の市場アクセスへの圧力とOptaflexx®の競争激化により、前年同期比8%減の5億4,740万ドルとなりました。世界全体でのコンパニオンアニマル向け製品の売上は、1%増の2億4,340万ドルとなりました。ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンのポートフォリオ買収に伴う売上が3,650万ドル加わったことが寄与しましたが、売上増加のかなりの部分は、米国における卸在庫の圧縮、及び競争の激化により相殺されました。

2017年通年の世界全体での動物用医薬品の売上は、前年比2%減の30億8,600万ドルとなりました。世界全体での食用動物向け製品の売上は、主として米国におけるPosilacの市場アクセスへの圧力とOptaflexxの競争の激化により、前年比8%減の20億1,700万ドルとなりました。世界全体でのコンパニオンアニマル向け製品の売上は、10%増の10億6,900万ドルとなりました。ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンのポートフォリオ買収に伴う売上が2億1,670万ドル加わったことが寄与しましたが、売上増加の一部は、競争の激化により相殺されました。

2018 年業績予測

当社は、報告値及び非 GAAP 値での 2018 年業績予測のいくつかの要素を修正しました。報告値ベースでの 2018 年通年の 1 株当たり利益の予想範囲を 4.39ドル～4.49ドルに引き上げました。非 GAAP 値ベースでは、最近成立した米国税制改正法の想定インパクトを織り込んで、4.81ドル～4.91ドルに引き上げました。

	2018 年通年予想	2017 年からの 変動(%)
1 株当たり利益(報告値)	4.39～4.49ドル	NM
無形固定資産の償却	0.42	
1 株当たり利益(非 GAAP 値)	4.81～4.91ドル	12%～15%

四捨五入のため合計値は一致しない。

当社は、2018 年通年の売上予想を 230 億ドル～235 億ドルの範囲に据え置きました。トルリシティ、トルツ、Basaglar、ジャディアンス、Verzenio、サイラムザ、オルミエント、Lartruvo 等の新製品が売上増加に寄与すると予想しています。

2018 年度の税率見込は、現在のところ、最近成立した米国税制改正法の想定インパクトを加味し、報告値、非 GAAP 値共に約 18.0%と予想しています。法人税率の引下げによる 2018 年度の実効税率の恩恵は、いくつかの事業除外、控除、猶予、国際税制の変更によって一部は相殺され、また当社の税法の解釈や、追加の法制・解釈・ガイダンスによって変更になる可能性があります。

下表は、2018年の業績予想を要約したものです。

	2018年業績予想	
	前回	修正後
売上	230～235億ドル	変更なし
売上に対する売上総利益の比率(報告値)	約73.0%	変更なし
売上に対する売上総利益の比率(非GAAP値)	約75.0%	変更なし
マーケティング、販売及び一般管理費	61～64億ドル	変更なし
研究開発費	50～52億ドル	変更なし
その他の収入(費用)	0.75～1.75億ドル	変更なし
税率(報告値)	約20.5%	約18.0%
税率(非GAAP値)	約21.5%	約18.0%
1株当たり利益(報告値)	4.24～4.34ドル	4.39～4.49ドル
1株当たり利益(非GAAP値)	4.60～4.70ドル	4.81～4.91ドル
設備投資	約12億ドル	変更なし

非GAAP調整値は、上表の1株当たり利益と一致しています。

イーライリリー社は、世界中の人々のより豊かな人生のために、革新的な製品に思いやりを込めてお届けすることを目指すグローバルなヘルスケアリーダーです。当社は、真のニーズを満たすべく質の高い医薬品の創造に献身した1人の男性により100年以上前に創立され、現在でも当社のすべての事業においてそのミッションに忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は人々の人生にインパクトを与えるような医薬品を発見し、それを必要とする人々に提供し、疾患についての理解や管理を向上させ、慈善活動やボランティア活動を通じて地域社会へ還元しています。イーライリリー社の詳細については www.lilly.com 及び <http://newsroom.lilly.com/social-channels> をご覧ください。

This press release contains management's current intentions and expectations for the future, all of which are forward-looking statements within the meaning of Section 27A of the Securities Act of 1933 and Section 21E of the Securities Exchange Act of 1934. The words "estimate", "project", "intend", "expect", "believe", "target", "anticipate" and similar expressions are intended to identify forward-looking statements. Actual results may differ materially due to various factors. There are significant risks and uncertainties in pharmaceutical research and development. There can be no guarantees that pipeline products will receive the necessary clinical and manufacturing regulatory approvals or that they will prove to be commercially successful. With respect to the review of and any potential initial public offering, merger, sale, or retention of the Elanco animal health business, there can be no guarantee that the company will realize the expected benefits of the review or other strategic efforts or that the review or other strategic efforts will be completed on the anticipated timeline, if at all. The company's results may also be affected by such factors as the timing of anticipated regulatory approvals and launches of new products; market uptake of recently launched products; competitive developments affecting current products; the expiration of intellectual property protection for certain of the company's products; the company's ability to protect and enforce patents and other intellectual property; the impact of governmental actions regarding pricing, importation, and reimbursement for pharmaceuticals, including U.S. health care reform; regulatory compliance problems or government investigations; regulatory actions regarding currently marketed products; unexpected safety or efficacy concerns associated with the company's products; issues with product supply stemming from manufacturing difficulties or disruptions; regulatory changes or other developments; changes in patent law or regulations related to data-package exclusivity; litigation involving current or future products; the extent to which third-party indemnification obligations relating to product liability litigation and similar matters will be performed; unauthorized disclosure of trade secrets or other confidential data stored in the company's information systems and networks; changes in tax law and regulations, including

the impact of tax reform legislation enacted in December 2017 and related guidance; changes in inflation, interest rates, and foreign currency exchange rates; asset impairments and restructuring charges; changes in accounting standards promulgated by the Financial Accounting Standards Board and the Securities and Exchange Commission (SEC); acquisitions and business development transactions and related integration costs; the impact of exchange rates and global macroeconomic conditions; and the impact of any strategic alternatives the company decides to pursue for its animal health products business. For additional information about the factors that could cause actual results to differ materially from forward-looking statements, please see the company's latest Form 10-Q and Form 10-K filed with the SEC. You should not place undue reliance on forward-looking statements, which speak only as of the date of this release. Except as is required by law, the company expressly disclaims any obligation to publicly release any revisions to forward-looking statements to reflect events after the date of this release.

#

イーライリリー・アンド・カンパニー
業績報告(未監査)- 報告値
(1株当たり数値を除き単位百万ドル)

	12月31日に終了した3ヵ月			12月31日に終了した12ヵ月		
	2017	2016	%増減	2017	2016	%増減
売上	\$ 6,160.7	\$ 5,760.5	7%	\$ 22,871.3	\$ 21,222.1	8%
売上原価	1,624.8	1,466.0	11%	6,070.2	5,654.9	7%
研究開発費	1,473.2	1,450.6	2%	5,281.8	5,243.9	1%
マーケティング、販売 及び一般管理費	1,780.5	1,790.1	(1)%	6,588.1	6,452.0	2%
取得済仕掛研究開発費	50.0	30.0	67%	1,112.6	30.0	NM
資産価値減損、組織再編及び その他の特別費用	<u>1,003.2</u>	<u>147.6</u>	NM	<u>1,673.6</u>	<u>382.5</u>	NM
営業利益	229.0	876.2	(74)%	2,145.0	3,458.8	(38)%
純金利収益(費用)	(10.2)	(19.5)		(57.7)	(76.5)	
その他の純収益(費用)	<u>65.3</u>	<u>35.3</u>		<u>110.1</u>	<u>(8.3)</u>	
その他の収入(費用)	55.1	15.8	NM	52.4	(84.8)	NM
税引前利益	284.1	892.0	(68)%	2,197.4	3,374.0	(35)%
所得税	<u>1,941.0</u>	<u>120.2</u>	NM	<u>2,401.5</u>	<u>636.4</u>	NM
純利益(損失)	\$ <u>(1,656.9)</u>	\$ <u>771.8</u>	NM	\$ <u>(204.1)</u>	\$ <u>2,737.6</u>	NM
1株当たり利益(損失)	\$ <u>(1.58)</u>	\$ <u>0.73</u>	NM	\$ <u>(0.19)</u>	\$ <u>2.58</u>	NM
1株当たり支払配当金	\$ 0.52	\$ 0.51	2%	\$ 2.08	\$ 2.04	2%
発行済株式数の加重平均(千 株)	1,051,09 1	1,061,49 8		1,052,02 3	1,061,82 5	

NM: 比較不能

イーライリリー・アンド・カンパニー

GAAP 報告値と一部の非 GAAP 調整後値(未監査)の対比

(1株当たり数値を除き単位百万ドル)

	2017年12月31日に終了した3ヵ月			2016年12月31日に終了した3ヵ月		
	GAAP 報告値	調整額 ^(c)	非 GAAP 調整後 ^(a)	GAAP 報告値	調整額 ^(d)	非 GAAP 調整後 ^(a)
売上原価	\$ 1,624.8	\$ (174.0)	\$ 1,450.7	\$ 1,466.0	\$ (162.7)	\$ 1,303.3
事業費用 ^(b)	3,253.7	(1.4)	3,252.3	3,240.7	(1.8)	3,238.9
取得済仕掛研究開発費	50.0	(50.0)	—	30.0	(30.0)	—
資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用	1,003.2	(1,003.2)	—	147.6	(147.6)	—
所得税	1,941.0	(1,635.0)	306.1	120.2	100.5	220.7
純利益(損失)	(1,656.9)	2,863.6	1,206.7	771.8	241.6	1,013.4
1株当たり利益(損失)	(1.58)	2.71	1.14	0.73	0.23	0.95

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非 GAAP 値の調整がある項目のみを反映している。

(a) イーライリリー社は米国一般会計原則(GAAP)に基づき報告される財務諸表とは異なる非 GAAP 値を使用しています。当社の非 GAAP 値は、無形資産の償却及び一般に非常に変動が激しく、予想が難しく、また一定期間業績報告に大きな影響を及ぼす規模の項目を除外して報告値を調整しています。当社はこれらの非 GAAP 値が投資家に有益な情報を提供すると信じています。特に、投資家が当社の継続事業を評価する際に役に立ちます。これらは期ごとの比較や、調整の対象となる項目によって覆い隠される、あるいは正確に伝えられないような傾向の把握に役立ちます。経営陣はこれらの非 GAAP 値を、資源配分やインセンティブ報酬目標に対する実績評価を含め、社内での業務実績の評価に使用しています。これらの非 GAAP 値は GAAP に基づく財務報告に代わる、あるいはそれよりも優れたものではなく、後者に加えて使用すべきものであることにご留意ください。

(b) 事業費用には研究開発、マーケティング、販売及び一般管理費が含まれます。

(c) 2017年12月31日に終了した3ヵ月間の特定の GAAP 報告値の調整には以下が含まれています。

(1株当たり数値を除き単位百万 ドル)	棚卸資産のステ ップアップ費用					米国税 制改正 ^(v)	調整合計
	償却 ⁽ⁱ⁾	IPR&D (ii)	その他特 定の項 目 ^(iv)	その他特 定の項 目 ^(iv)	米国税 制改正 ^(v)		
売上原価	\$ (163.3)	\$ —	\$ (10.7)	\$ —	\$ —	\$ —	(174.0)
事業費	(1.4)	—	—	—	—	—	(1.4)
取得済仕掛研究開発費	—	(50.0)	—	—	—	—	(50.0)
資産価値減損、組織再編及びそ の他の特別費用	—	—	—	(1,003.2)	—	—	(1,003.2)
所得税	50.2	17.5	3.7	207.6	(1,914.0)	—	(1,635.0)
純利益	114.6	32.5	6.9	795.6	1,914.0	—	2,863.6
1株当たり利益	0.11	0.03	0.01	0.75	1.81	—	2.71

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非 GAAP 値の調整がある項目のみを反映している。

- i. 主として第三者から取得した市販品または導入品の費用に伴う無形固定資産の償却を除く。
- ii. 事業統合以外の取引で取得した取得済み仕掛研究開発費に関する前払金に伴う費用を除く。これらはキュアバック社との提携に係る費用。
- iii. ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンのポートフォリオ買収に伴う棚卸資産のステップアップ費用を除く。
- iv. 主として米国での希望早期退職プログラムを含む当社のコスト構造改善に関する費用を除く。
- v. いわゆる「通行税」と呼ばれる 1 回限りの外国子会社配当益金不算入制度を含む最近成立した米国税制改正法に関連する経費を除く。

2016 年 12 月 31 日に終了した 3 ヶ月間の特定の GAAP 報告値の調整には以下が含まれていません。

(d) 2016年12月31日に終了した3ヵ月間の特定のGAAP報告値の調整には以下が含まれています。

(1株当たり数値を除き単位百万ドル)	償却 ⁽ⁱ⁾	IPR&D ⁽ⁱⁱ⁾	その他特定 の項目 ⁽ⁱⁱⁱ⁾	調整合計
売上原価	\$ (162.7)	\$ —	\$ —	(162.7)
事業費	(1.8)	—	—	(1.8)
取得済仕掛研究開発費	—	(30.0)	—	(30.0)
資産価値減損、組織再編及びその他の特別費用	—	—	(147.6)	(147.6)
所得税	50.8	10.5	39.1	100.5
純利益	113.7	19.5	108.4	241.6
1株当たり利益-希釈化後	0.11	0.02	0.10	0.23

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非GAAP値の調整がある項目のみを反映している。

- i. 主として第三者から取得した市販品または導入品の費用に伴う無形固定資産の償却を除く。
- ii. 事業統合以外の取引で取得した取得済み仕掛研究開発費に関する前払金に伴う費用を除く。これらの費用は、アストラゼネカ社とのMEDI1814の共同開発契約に関係する。
- iii. ノバルティス社の動物用医薬品事業買収に関するグローバル全体での退職費用と統合費用を除く。

イーライリリー・アンド・カンパニー

GAAP 報告値と一部の非 GAAP 調整後値(未監査)の対比

(1 株当たり数値を除き単位百万ドル)

	2017 年 12 月 31 日に終了した 12 カ月			2016 年 12 月 31 日に終了した 12 カ月		
	GAAP 報告値	調整額 ^(c)	非 GAAP 調 整後 ^(a)	GAAP 報 告値	調整額 ^(d)	非 GAAP 調 整後 ^(a)
売上原価	\$ 6,070.2	\$ (711.2)	\$ 5,359.0	\$ 5,654.9	\$ (675.7)	\$ 4,979.2
事業費用 ^(b)	11,869.9	(6.3)	11,863.6	11,695.9	(7.6)	11,688.3
取得済仕掛研究開発費	1,112.6	(1,112.6)	—	30.0	(30.0)	—
資産価値減損、組織再 編及びその他の特別	1,673.6	(1,673.6)	—	382.5	(382.5)	—
その他の収入(費用)	52.4	—	52.4	(84.8)	203.9	119.1
所得税	2,401.5	(1,230.8)	1,170.7	636.4	301.7	938.1
純利益(損失)	(204.1)	4,734.4	4,530.4	2,737.6	998.0	3,735.6
1 株当たり利益(損失)	(0.19)	4.48	4.28	2.58	0.94	3.52

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非 GAAP 値の調整がある項目のみを反映している。

- (a) イーライリリー社は米国一般会計原則(GAAP)に基づき報告される財務諸表とは異なる非 GAAP 値を使用しています。当社の非 GAAP 値は、無形資産の償却及び一般に非常に変動が激しく、予想が難しく、また一定期間業績報告に大きな影響を及ぼす規模の項目を除外して報告値を調整しています。当社はこれらの非 GAAP 値が投資家に有益な情報を提供すると信じています。特に、投資家が当社の継続事業を評価する際に役に立ちます。これらは期ごとの比較や、調整の対象となる項目によって覆い隠される、あるいは正確に伝えられないような傾向の把握に役立ちます。経営陣はこれらの非 GAAP 値を、資源配分やインセンティブ報酬目標に対する実績評価を含め、社内での業務実績の評価に使用しています。これらの非 GAAP 値は GAAP に基づく財務報告に代わる、あるいはそれよりも優れたものではなく、後者に加えて使用すべきものであることにご留意ください。
- (b) 事業費用には研究開発、マーケティング、販売及び一般管理費が含まれます。
- (c) 2017 年 12 月 31 日に終了した 12 カ月間の特定の GAAP 報告値の調整には以下が含まれています。

(1株当たり数値を除き単位 百万ドル)	償却 ⁽ⁱ⁾	IPR&D ⁽ⁱⁱ⁾	棚卸資産 のステッ プアップ 費用 ⁽ⁱⁱⁱ⁾	その他特 定の項目 ^(iv)	米国税制 改正 ^(v)	調整合計
売上原価	\$ (668.5)	\$ —	\$ (42.7)	\$ —	\$ —	\$ (711.2)
事業費	(6.3)	—	—	—	—	(6.3)
取得済仕掛研究開発費	—	(1,112.6)	—	—	—	(1,112.6)
資産価値減損、組織再編及 びその他の特別費用	—	—	—	(1,673.6)	—	(1,673.6)
所得税	207.6	89.3	14.9	371.3	(1,914.0)	(1,230.8)
純利益	467.1	1,023.3	27.7	1,302.2	1,914.0	4,734.4
1株当たり利益	0.44	0.97	0.03	1.23	1.81	4.48

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非 GAAP 値の調整がある項目のみを反映している。

- i. 主として第三者から取得した市販品または導入品の費用に伴う無形固定資産の償却を除く。
- ii. 事業統合以外の取引で取得した取得済仕掛研究開発費に関する前払金に伴う費用を除く。これらの費用は、コルシド・ファーマシューティカルズ・インク社の買収に関係している。
- iii. ベーリンガーインゲルハイムベトメディカ・インク社の米国のネコ用・イヌ用ワクチン及び狂犬病ワクチンのポートフォリオ買収に伴う棚卸資産のステップアップ費用を除く。
- iv. 主として米国での希望早期退職プログラムを含む当社のコスト構造改善に関する費用を除く。
- v. いわゆる「通行税」と呼ばれる 1 回限りの外国子会社配当益金不算入制度を含む最近成立した米国税制改正法に関連する経費を除く。

(d) 2016年12月31日に終了した12ヵ月間の特定のGAAP報告値の調整には以下が含まれています。

(1株当たり数値を除き単位 百万ドル)	償却 ⁽ⁱ⁾	IPR&D ⁽ⁱⁱ⁾	ベネズエラ ⁽ⁱⁱⁱ⁾	その他特定 の項目 ^(iv)	調整合計
売上原価	\$ (675.7)	\$ —	\$ —	\$ —	(675.7)
事業費	(7.6)	—	—	—	(7.6)
取得済仕掛研究開発費	—	(30.0)	—	—	(30.0)
資産価値減損、組織再編及 びその他の特別費用	—	—	—	(382.5)	(382.5)
その他の収入(費用)	—	—	203.9	—	203.9
所得税	214.0	10.5	—	77.2	301.7
純利益	469.3	19.5	203.9	305.3	998.0
1株当たり利益-希釈化後	0.44	0.02	0.19	0.29	0.94

四捨五入のため合計値は一致しない。

上記の表は、非GAAP値の調整がある項目のみを反映している。

- i. 主として第三者から取得した市販品または導入品の費用に伴う無形固定資産の償却を除く。
- ii. 事業統合以外の取引で取得した取得済み仕掛研究開発費に関する前払金に伴う費用を除く。これらの費用は、アストラゼネカ社とのMEDI1814の共同開発契約に関する。
- iii. ベネズエラの金融危機の影響(ボリバルの大幅安など)に関する費用を除く。
- iv. ノバルティス社の動物用医薬品事業の買収に関する統合費用及び退職費用、その他のグローバル全体での退職費用、アイルランドの動物用医薬品製造設備の閉鎖に関する資産減損に伴う費用を除く。